

【介護老人保健施設の理念と役割】

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上を目指し総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供すると共に、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、様々なケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

2階 介護職 佐藤 利香

8月9日に夏祭りを開催しました。家族や地域の皆様には沢山ご参加いただき、誠にありがとうございました。

毎年恒例となっているフラダンスや職員と一緒に踊る盆踊り、そして打ち上げ花火などを行い、屋台や射的には沢山の列が並びました。会場は皆様の笑顔と歓声にあふれ大盛り上がりでした。

来年も皆様に楽しんでいただけるような夏祭りを計画していきたいと思えます。



3階 介護職 三浦 真奈美

8月28日にスイカ割を行いました。当日はあいにくの雨空により、室内での開催となりました。

利用者の方に目隠しをして、皆で大きな声を張り上げ前や右へとスイカに誘導しました。中には「私がやります」と率先して挑戦される方もおり、参加された方々は笑顔で楽しまれました。最後には割ったスイカを配り、おやつにいただき「美味しい」と大好評でした。

これからも利用者の皆様に、季節を感じていただけるような行事を提供していきたいと思えます。



3階 看護職 上山 昌子

朝晩の気温はだいぶ涼しくなり、肌寒ささえかんじる日が増えてきました。

今年の夏は例年以上に暑い日が続き、毎日のように熱中症を注意喚起するニュースが聞かれました。幸いにも当施設では、熱中症などで体調を崩される利用者の方はおらず、この夏を元気に乗り越えていただくことが出来ました。

まだまだ日中は暑い日が続いておりますので、適切な水分補給と環境の整備を行い、利用者皆様の体調管理に努めていきたいと思えます。

【8月の施設往来】

8月9日(金) 夏祭り

フラ・ハラウ・オ・メレアロハ様

(代表 菊地美栄子様)



相談室 佐々木 智広

8月9日(金)に夏祭りを開催しました。台風の影響により曇り空の下での開催となりましたが、ご家族の方をはじめ地域の皆様にも大勢来て頂き、楽しい一時を過ごせましたことを心からお礼申し上げます。

来年も皆様からご協力いただいたアンケートを元に、楽しんで頂けるよう創意工夫をしていきたいと思えます。